

自然と共に生き、命をいただくということ

書いた人 N.Tさん

私は、今回のルンアルンプロジェクト研修を通して様々なことを経験したくさんなことを学びました。そのなかでも、私が感じたことは大きく5点に分けられます。

まず、1点目は、自然と共に生きているということです。私は、毎日電車に乗って学校に行き、バイトに行つての繰り返しで、周りの自然に目を向ける機会がほとんどありません。電車の中でも、スマホに集中して、家の周りは無機質な建物ばかり並び、聞こえてくる音は工事や車の音のみです。しかし、今回都市から離れた自然豊かなタイの町を訪ね、毎日鶏の声をきき、食事は畑でとれた野菜を食べ、夜は空に輝く星を見て、猫・犬がのびのび暮らしている日常に触れることができました。この経験は、私に自然の存在だけでなく、環境の大切さを気付かせました。普段食べている野菜も畑で育てられたもの、コーヒーも山に植えられているコーヒーの木の実からできたものであるということ。私たちは都市化した普通の生活でそれらが作られている環境を考えることはほとんどありません。しかし、今回、自然に触れることができたおかげで、私は人が生きていくにはやはり自然が必要不可欠で、授業で教授がよくいう環境保護や持続可能な開発の大切さを理解することができました。そして、環境保護のため、植林活動を行い、変形したコーヒー豆でも有効活用する中野さんの活動はとても意義のあるものであると感じました。

2点目は、命をいただくということです。私は、サンクラン村で4日間過ごしましたが、その際、私は、私たちの食事のために、鶏が殺されてしまう瞬間に直面しました。これは、今まで、食用の鶏肉しか見たことがなかった私にとって、とても衝撃的な体験でした。30分前まで鳴いていた鶏が、首をつかまれたときに出した、とても苦しそうな声は今でも脳裏に深く残っています。私は、鶏に対して、申し訳なさりと悲しさで複雑な気持ちになりました。命をいただくということはその生き物を殺すということ。毎日おいしく食べている牛肉や豚肉もすべて最初は生きていたもので、私たちが食べるために殺されたということをこの身をもって感じることができました。

3点目は、コーヒー豆を作るのがどれほど大変かということです。コーヒーの木は細くて険しい山道を上がり、下がり、やっとたどり着く場所に植えられています。そのうえ、立っているだけでもしんどく、すぐに滑り落ちてしまうほど急な斜面でコーヒー豆を収穫します。害虫に食われた豆も処理しなければ、次のコーヒー豆も害虫に食われてしまいます。その処理も一人では到底できないほど無数にあります。これほどコーヒー豆を作るのは大変なのです。私たちが普段飲んでいるコーヒーにはたくさんの苦勞が詰まっているということに気が付けたと同時に、100円という安い価格で提供するのではなく、公平に取引をし、村の人の生活を支えていくことの必要性を感じるようになりました。

4点目は、「ものが多く、便利なものに囲まれている生活≠幸せ」ということです。私は、渡航する前、村の子供たちはぬいぐるみも持たず、いくつかの村は電気も通っていないと聞き、とても貧しくて、みな悲しそうな眼をしている町を想像していました。しかし、実際行

ってみると、私の想像していたものとは全く違っていました。確かに、日本に比べて、不便なことがおおく、質素な生活ですが、みな生き生きしていました。テレビを見ない分、みんなで喋り、笑っていました。現在、娯楽の時間を増やし、人々の生活を豊かにするため、世界中でロボットやAIの開発が進んでいます。しかし、原始的で質素な生活でも生き生きしている村の人々を見て、ロボットなどは必ずしも人々を豊かにはしないと確証することができました。同時に、ものがあふれ、スマホですべてが解決できてしまうほど便利な暮らしである一方で、ネット依存などが原因で起こるひきこもりや、うつ病になる若者が増えているという問題を抱える日本の将来が不安になりました。

5点目は、実際に行動に移すということの重要性です。これは、日本を離れ、本当に自分がやりたいこと・やるべきことに従って、活動している中野さんや堀内さんにお会いし感じました。私が実際にお話をきき感じた、中野さんと堀内さんの共通点は、判断力と行動力です。私はなにかをするとき、まず安定性やリスクを考え、最終的には勇気がなくて、行動に移すまでに至らないことが多いです。一方で、中野さんは現在よりももっと不便で、経済力が低かったであろうタイに数十年前に移住し、学生寮を立てました。堀内さんは全盲にも関わらず、タイの山奥で、タイ語で本の読み聞かせをしました。私はお話を聞いている間、お二方のその行動力と勇気に圧巻されていました。そして、中野さんも堀内さんも一つ行動に移せば、ほかの課題がみえ、それがまた次の行動につながり、現在の偉大な活動につながっているということを知り、小さなことでもまずはやってみることが大事であるということ学びました。

最後に、この2週間は私にとって、とても価値のあるものでした。初めてのことをたくさん経験し、今まで考えようとしなかったことを考え、尊敬する方にお会いし、自分の視野が広がった研修でした。このような濃い研修を計画し手配してくださった平岩先生や中野さんなどには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。